

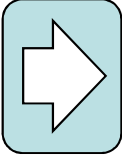


平成30年度第2回 全国財務局長会議席上配付資料

- I. 最近の福岡財務支局管内の経済情勢
- II. 管内におけるインバウンドの動向について

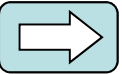
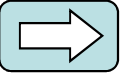
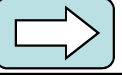




平成30年8月7日  
福岡財務支局

# I . 最近の福岡財務支局管内の経済情勢

|      | 前回(30年4月判断) | 今回(30年7月判断) | 前回比較  | 総括判断の要点   |
|------|-------------|-------------|---|---|
| 総括判断 | 回復している      | 回復している      |  | 個人消費は、百貨店・スーパー販売額や乗用車販売が前年を下回っているが、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回るなど、回復している。生産活動は、自動車海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移するなど、改善している。 |

## 〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響等海外経済の不確実性や、平成30年7月豪雨の影響などに留意する必要がある。

|      | 前回(30年4月判断) | 今回(30年7月判断) | 前回比較  |
|------|-------------|-------------|---|
| 個人消費 | 回復している      | 回復している      |    |
| 生産活動 | 緩やかに回復している  | 緩やかに回復している  |    |
| 雇用情勢 | 改善している      | 改善している      |  |
| 設備投資 | 29年度は増加見込み  | 30年度は増加見通し  |  |
| 企業収益 | 29年度は増益見込み  | 30年度は増益見通し  |  |
| 住宅建設 | 前年を下回っている   | 前年を上回っている   |  |
| 輸 出  | 前年を下回っている   | 前年を上回っている   |  |

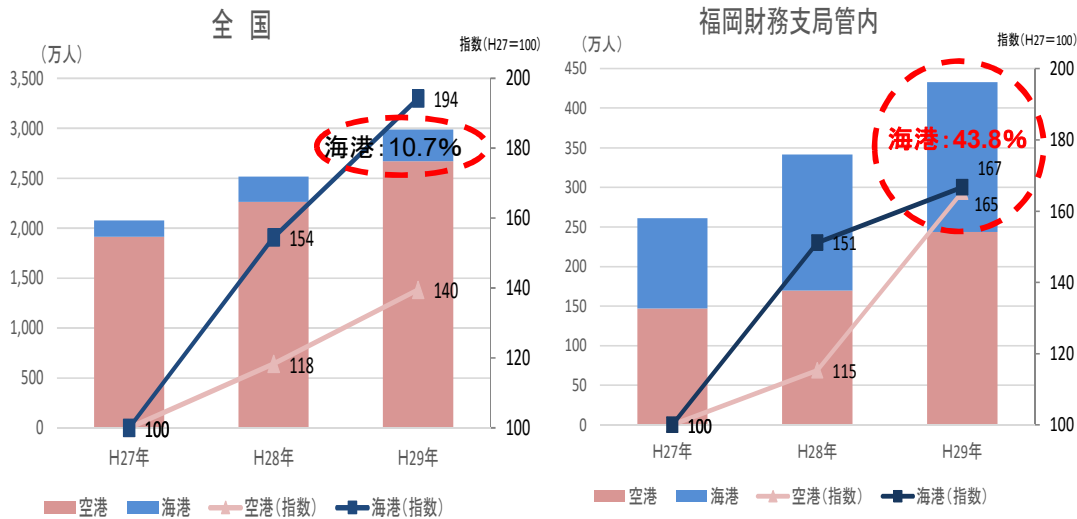
※ 30年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

## Ⅱ. 管内におけるインバウンド(訪日外国人)の動向 ～特徴～

### 【特徴①】

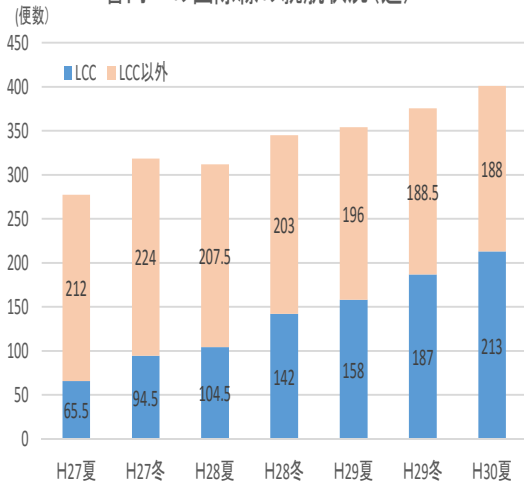
クルーズ船をテコに増え続けるインバウンド。  
クルーズ船の寄港回数は3年連続全国トップ。

- 入国者数(注)は、LCCやクルーズ船の入港回数の増加を背景に、全国、当局管内ともに伸び続けている。
- **当局管内は全国と比べて海港からの入国割合が高い。**



(注) 法務省「出入国管理統計」の入国外国人数に一時上陸者数を加算して算出。

### 管内への国際線の就航状況(週)



出所: 国土交通省「国際線就航状況」  
※管内4空港(福岡空港、北九州空港、佐賀空港、長崎空港)合計。直行便のみ。

### 外国船社が運航するクルーズ船寄港回数(トップ3)

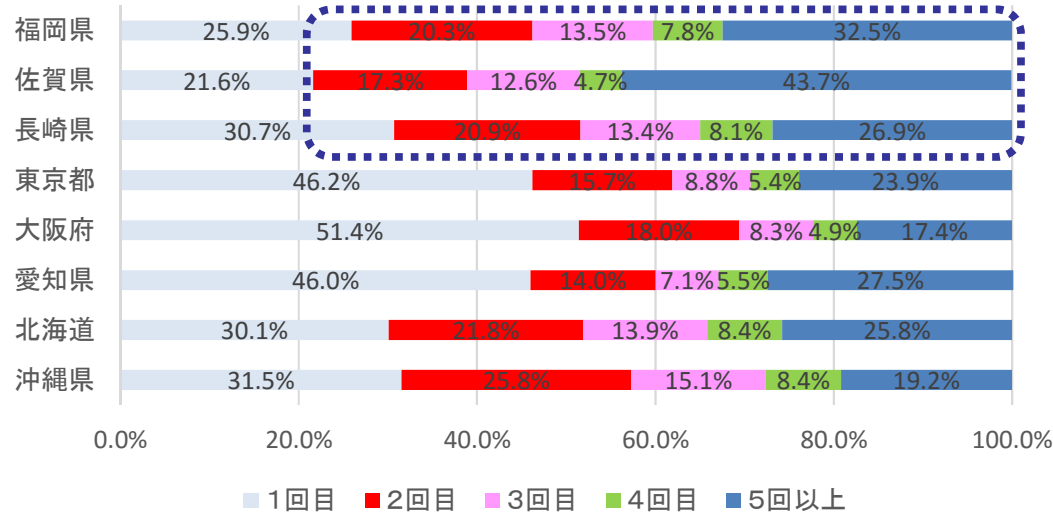
| 順位 | H27年 |     | H28年 |     | H29年(速報値) |     |
|----|------|-----|------|-----|-----------|-----|
|    | 港湾名  | 回数  | 港湾名  | 回数  | 港湾名       | 回数  |
| 1  | 博多   | 245 | 博多   | 312 | 博多        | 309 |
| 2  | 長崎   | 128 | 長崎   | 190 | 長崎        | 262 |
| 3  | 那覇   | 105 | 那覇   | 183 | 那覇        | 217 |

出所: 国土交通省

### 【特徴②】

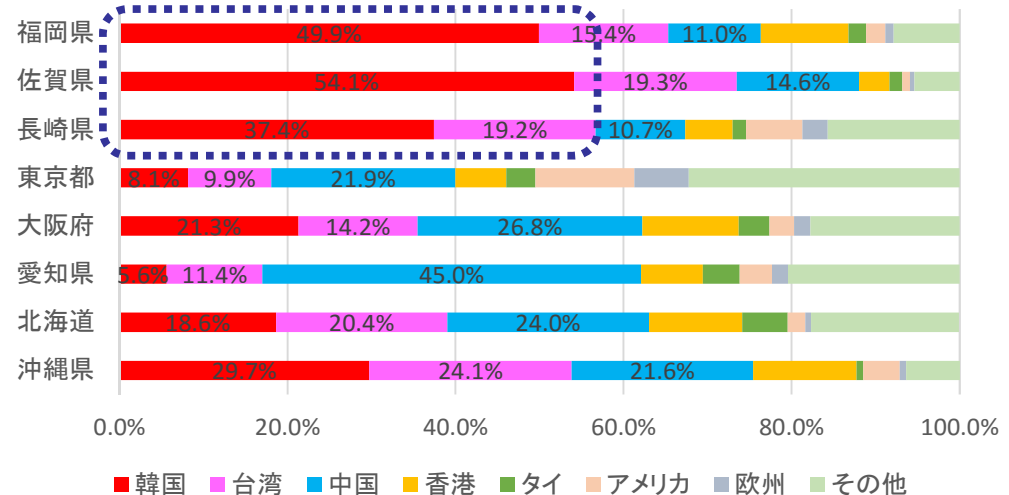
三大都市圏に比べ、リピート率が高い。  
延べ宿泊者数でみると韓国人旅行者の割合が高い。

### 初訪日客とリピーターの構成割合



出所: 観光庁 訪日外国人消費動向調査(2017年)

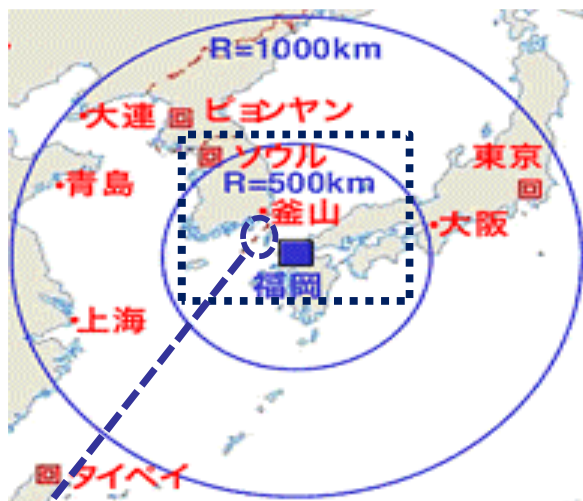
### 国(地域)別外国人延べ宿泊者数構成割合



出所: 観光庁 宿泊旅行統計調査(2017年速報値)

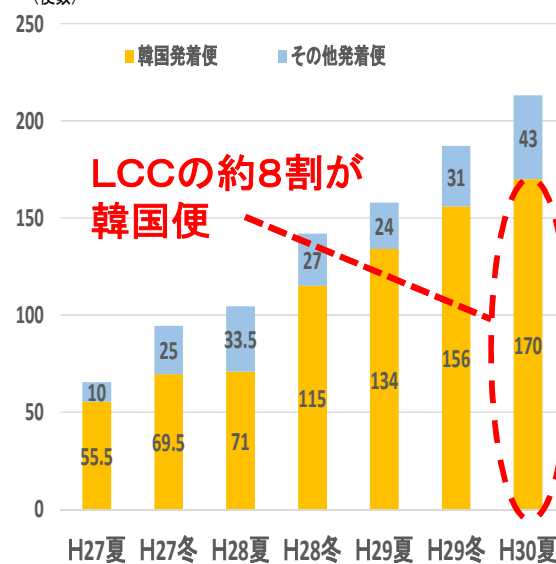
## Ⅱ. 管内におけるインバウンドの動向 ～ 韓国人旅行者増加の背景①: 近距離で、安価な交通手段～

韓国からは、海路、空路ともにアクセスが充実



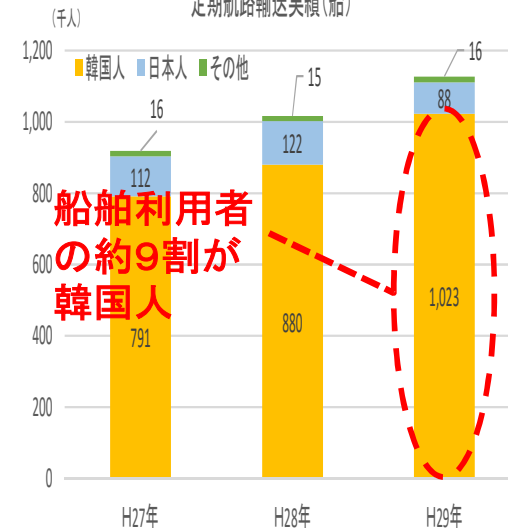
### 空路

管内への国際線LCCの就航状況(週)



### 海路

釜山-博多・対馬 定期航路輸送実績(船)



出所 国土交通省「国際線就航状況」

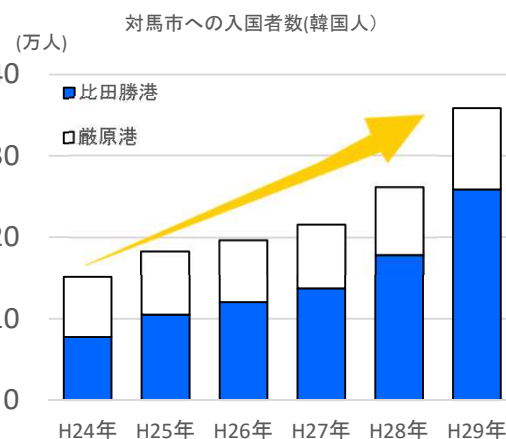
※管内4空港(福岡空港、北九州空港、佐賀空港、長崎空港)合計。直行便のみ。

出所:九州運輸局 日韓旅客定期航路輸送実績

### 【コラム】～ 韓国に一番近い日本 = 対馬市 ～



人口3万人の島に韓国人旅行者30万人



出所:法務省「出入国管理統計」

### 他の大都市圏に比べ、所要時間が短く、移動費も安い

| 運行会社    | 航路     | 所要時間(片道) | 料金(往復)           |
|---------|--------|----------|------------------|
| フェリー A社 | 博多-釜山  | 約5時間30分  | ¥17,100(2等客室)    |
| 高速船 B社  | 博多-釜山  | 約3時間     | ¥22,000          |
| LCC C社  | 福岡-釜山  | 約50分     | ¥10,653～(往復割引)   |
|         | 福岡-ソウル | 約1時間30分  | ¥15,650～(往復割引)   |
| フェリー D社 | 大阪-釜山  | 約19時間    | ¥20,000(スタンダード室) |
| LCC C社  | 成田-ソウル | 約2時間30分  | ¥37,700～(往復割引)   |
|         | 関空-ソウル | 約1時間50分  | ¥17,700～(往復割引)   |

近距離で、安価な交通手段の選択肢に富んでおり、**韓国人旅行者にとって北部九州への旅行は「日常的」なものになりつつある。**

## Ⅱ. 管内におけるインバウンドの動向

### ～ 韓国人旅行者増加の背景②: 訪日目的を満たすコンテンツと旅行しやすい環境～

#### 韓国人旅行者の訪日目的を満たすコンテンツ

韓国人 訪日前に期待していたこと

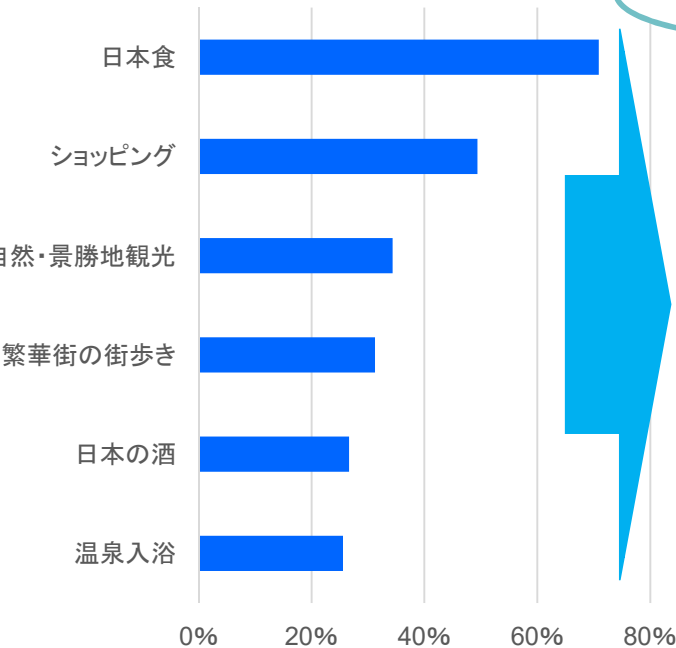


例えば・・・

|                    | 福岡   | 佐賀                                | 長崎  |
|--------------------|--|-----------------------------------|---|
| 日本食、<br>日本の酒       | ・ラーメン<br>・うどん<br>・もつ鍋<br>・筑後地域の酒蔵群                     | ・シリアンライス<br>・鹿島地域の酒蔵群             | ・ちゃんぽん<br>・皿うどん<br>・佐世保バーガー                                     |
| ショッピング、<br>繁華街の街歩き | ・博多、天神商業地区<br>・キャナルシティ博多                               |                                   | ・浜の町商店街   |
| 自然・景勝地観光、<br>温泉入浴  | ・福岡タワー<br>・太宰府天満宮<br>・宗像大社<br>・柳川御花<br>・二日市温泉<br>・原鶴温泉 | ・祐徳稲荷神社<br>・唐津城<br>・嬉野温泉<br>・武雄温泉 | ・ハウステンボス<br>・平和公園<br>・端島(軍艦島)<br>・潜伏キリシタン関連遺産<br>・雲仙温泉<br>・小浜温泉 |

#### 韓国人旅行者が旅行しやすい環境

- ・ **韓国語が出来るスタッフ**を配置  
〔福岡市 飲食業、長崎市 宿泊業〕
- ・ **メニュー等の韓国語表記**  
〔福岡市 飲食業〕
- ・ **新韓カード**(韓国最大手)対応による  
決済手段の多様化  
〔福岡市 商業施設〕
- ・ **リピーターに飽きられないための取組**  
(プロジェクションマッピングなど)の実施  
〔福岡市 商業施設〕



※複数回答  
出所: 観光庁 訪日外国人消費動向調査(2017年)

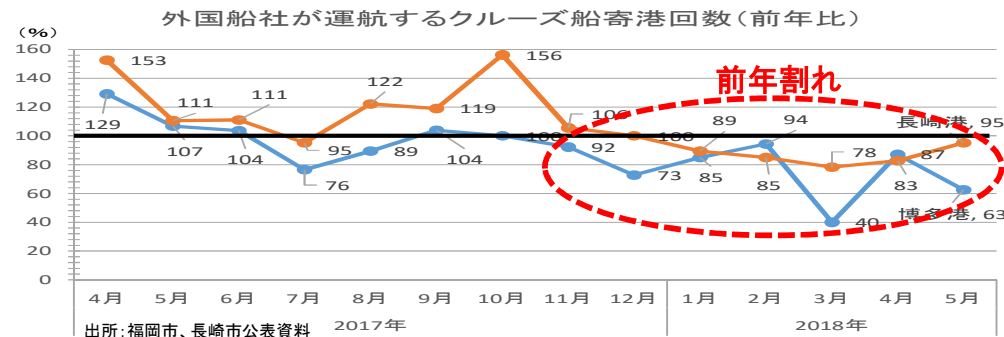


「日常の延長」として楽しめる異文化が近くの北部九州にある！

➔ SNSによる口コミにより、更に韓国人旅行者が増加！

## Ⅱ. 管内におけるインバウンドの動向 ～インバウンド全体に対する課題と対応策～

足元クルーズ船の入港回数に減少傾向が見られる中、地域経済の活性化のためにも、韓国人旅行者を含めインバウンドを更に取り込むための取組が必要



### 課題

○個人のインバウンドに、更に広域回遊してもらう形態に変えていく必要

総合的な  
マネジメント  
体制の構築

○VR(バーチャル・リアリティ)による疑似体験の実施等、観光地の魅力を高める工夫を行っていく必要

観光地としての  
持続可能性

○港、空港(国際線)と市内中心部や観光地を結ぶアクセスを向上させる必要

「足」の充実

○外国語ができるスタッフの十分な確保が必要  
○より多くの場所でキャッシュレス対応を推進していく必要

インフラ整備

### 対応策

○街全体での外国人受入体制  
○様々な地域で消費を拡大させるコンテンツの作成

自治体・  
観光協会

○日本文化、歴史、物語などの「魅力」磨き  
○飽きられないための新しい取組(疑似体験、イベント等)

観光地

### 相互連携を通じたWin・Winの関係構築

○港、空港(国際線)⇔観光地への直行バス  
○定番観光地以外のアクセス向上

交通機関

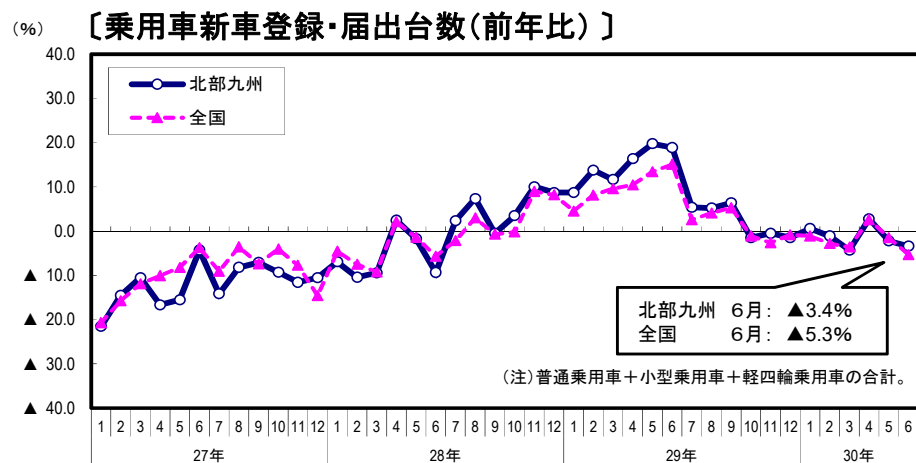
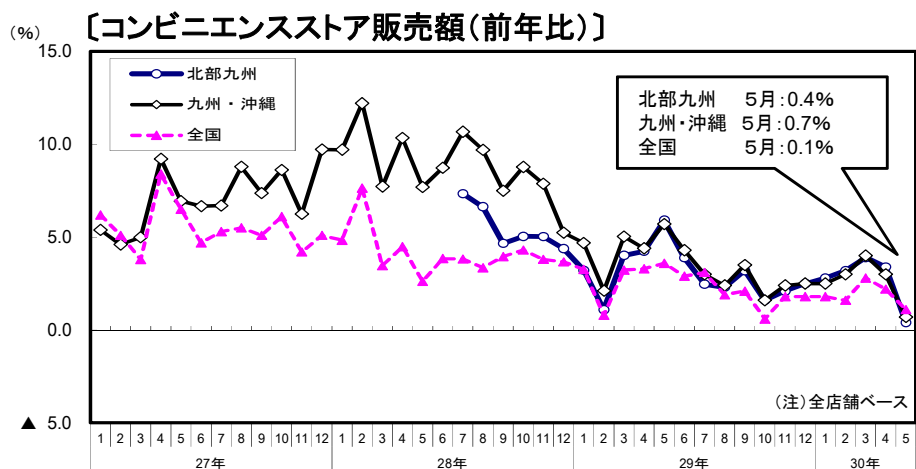
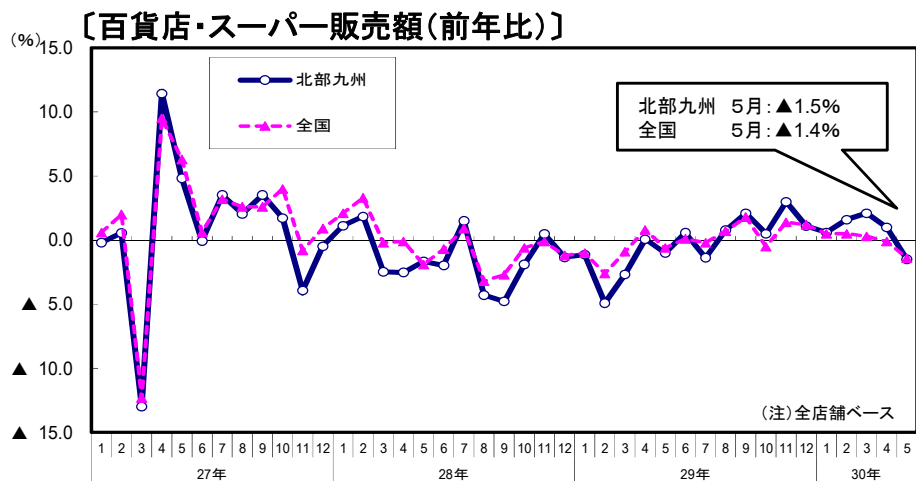
○更なる多言語対応(スタッフ、案内板等)  
○決済手段の多様化

事業者

# 参考資料

(最近の福岡財務支局管内の経済情勢)

# 1. 個人消費 ～回復している～



【出所】経済産業省、九州経済産業局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

百貨店・スーパー販売額は、百貨店では高額品や化粧品が好調であるものの、スーパーでは飲食料品や衣料品が低調なことなどから、全体では前年を下回っている。なお、一部に平成30年7月豪雨の影響がみられるとの声が聞かれる。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、軽自動車では新型車が好調なため前年を上回っているものの、普通車、小型車が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、飲食料品等を中心に好調なことなどから、前年を上回っている。家電販売額は、機能性の高い白物家電、テレビ、エアコンに動きがみられたことなどから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、冷房器具等に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍く、前年を下回っている。このように、個人消費は回復している。

➤ 青果は価格が下落したものの、販売数量が追いつかず売上が減少した。惣菜は中食需要の高まりもあり、好調を維持している。

【スーパー・大企業】

➤ 新規出店を継続しているほか、レジ横のファーストフード商品、弁当、総菜等が好調である。

【コンビニエンスストア・大企業】

➤ 新規出店を継続しており、飲食料品や日用品を中心に好調なほか、足下ではアイスや日焼け止めなど季節商品に動きがみられている。

【ドラッグストア・大企業】

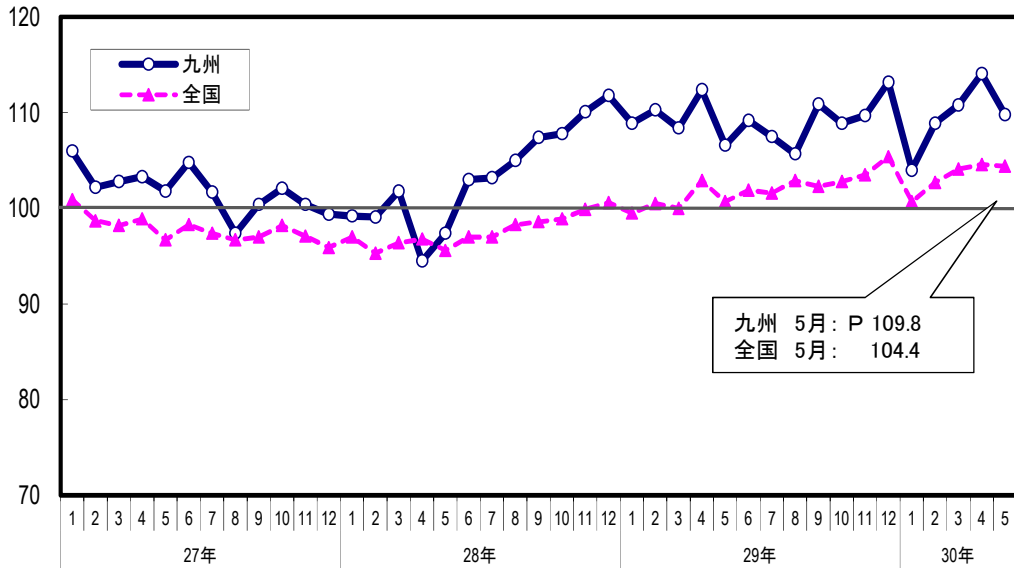
➤ 家電エコポイント導入時の購入品の買い替え需要もあり、単価の高い高付加価値の白物家電やテレビが好調である。足下では気温が高い日が続いており、エアコンに動きがみられる。

【家電販売店・大企業】



## 2. 生産活動 ～緩やかに回復している～

〔22年=100〕【鉱工業生産指数(季節調整値)】

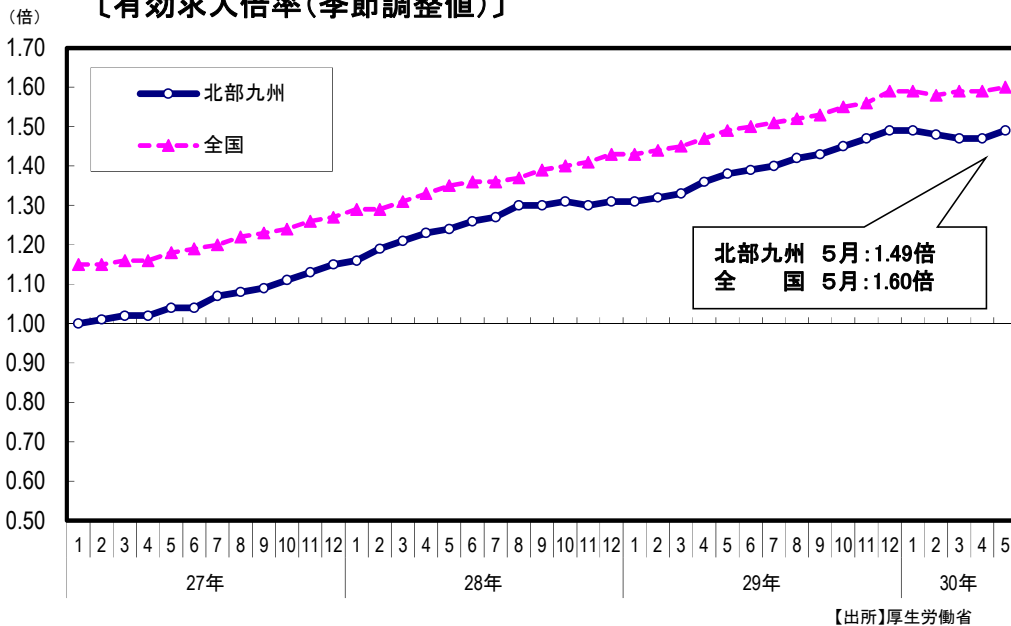


輸送用機械の自動車は、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。鉄鋼は、国内外向けの自動車用鋼材や海外向けの軌条が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイス、車載向けを中心に引き続き好調に推移している。造船は、高めの操業を維持しているものの、受注価格は低い状態が続いている。このように、生産活動は緩やかに回復している。

- 海外向けを中心に引き続き好調な動きとなっており、工場はフル操業の状態となっている。  
【自動車メーカー・大企業】
- 自動車向け鋼材の生産は国内外ともに受注が好調であることや、海外向けの軌条の生産が好調に推移していることなどから、工場は高操業の状態となっている。  
【鉄鋼・大企業】
- ハイブリッド車の電子機器制御などに使用される製品の需要が高く、引き続き好調に推移している。  
【情報通信機械器具・中堅企業】

## 3. 雇用情勢 ～改善している～

〔倍〕【有効求人倍率(季節調整値)】



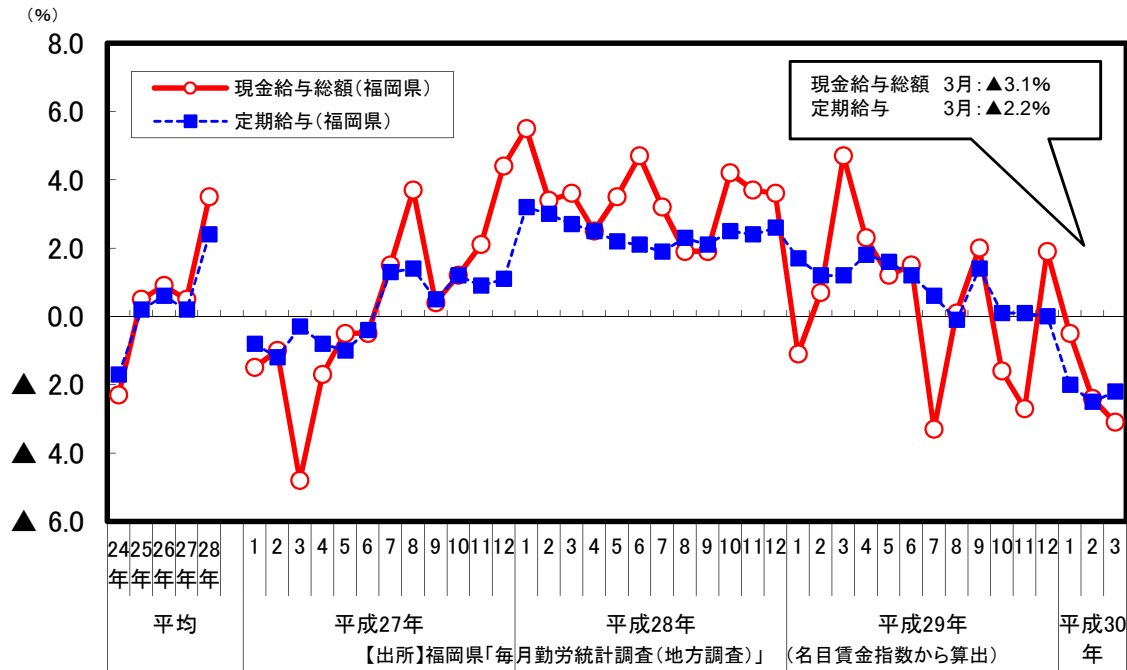
有効求人倍率は引き続き高水準で推移している。新規求人数は、医療・福祉業及び卸売業・小売業等で増加している。新規求職者数は引き続き前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。

(参考)福岡県の賃金の動き

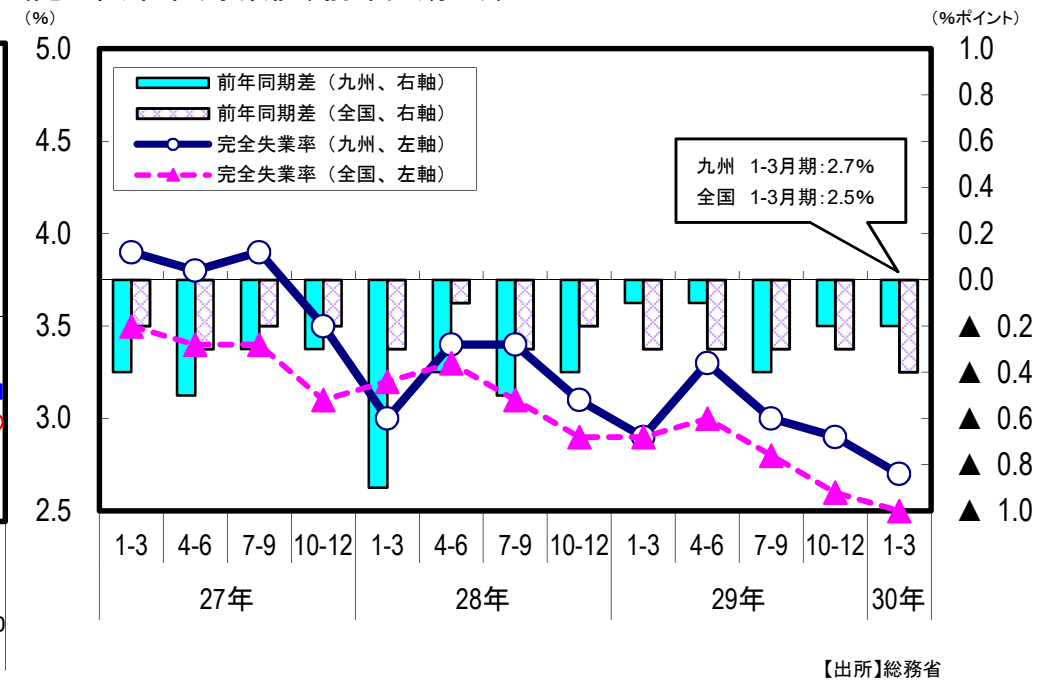
現金給与総額は前年を下回っている。

- 新規出店を進めており、人手が不足している状態が続いている。小売は立ち仕事の重労働で人が集まりにくい、時給を上げ、有給休暇の積極的活用を推進するなどして人材確保に努めている。  
【小売・大企業】
- 業界全体として慢性的に人手不足。賃上げや、勤務の短時間化など色々と対策をとっているが、中々人は集まらない。  
【医療・福祉・中堅企業】
- 新規求人は、医療・福祉業及び小売業の新規出店等により伸びており、企業の求人意欲は高いなか、新規求職は前年同月を下回っており、有効求人倍率は当面現状の高水準が続く見込み。  
【労働局】

### 〔現金給与総額・定期給与(前年同月比)〕



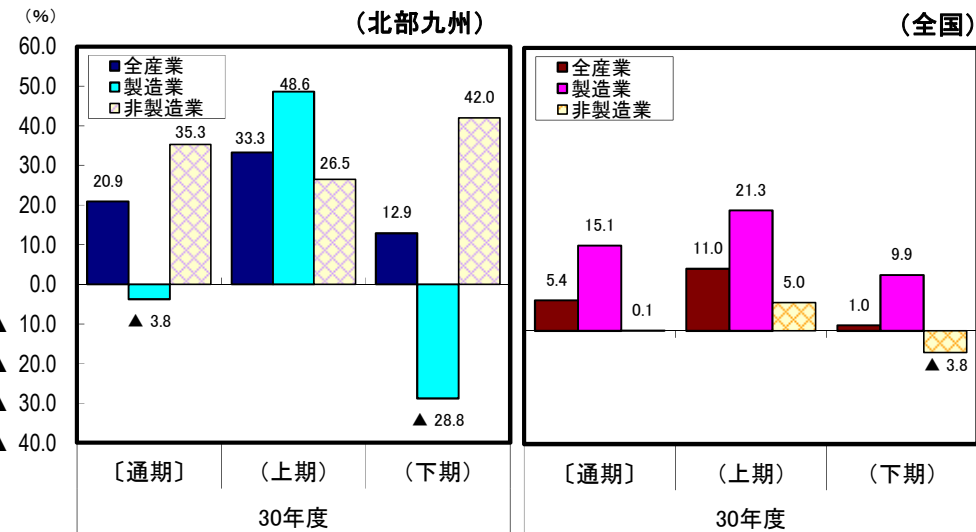
### 〔完全失業率(原数値、前年同期差)〕



## 4. 設備投資 ～30年度は増加見通し～

### 法人企業景気予測調査 30年4-6月期

#### 〔設備投資計画(前年(同期)比)〕



○製造業では、窯業・土石製品等で増加見通しとなっているものの、自動車・同附属品、パルプ・紙・紙加工品で減少見通しとなっており、全体では減少見通しとなっている。

○非製造業では、金融、保険等で減少見通しとなっているものの、運輸、郵便、小売等で増加見通しとなっており、全体では増加見通しとなっている。

- 昨年度同様、新型車に関する設備投資を行うものの、昨年度より投資額が減少するため、反動減。  
【自動車・同附属品・大企業】
- 新型車両の導入等の安全投資のほか、商業ビル開発などの不動産関連投資を計画。  
【運輸・大企業】

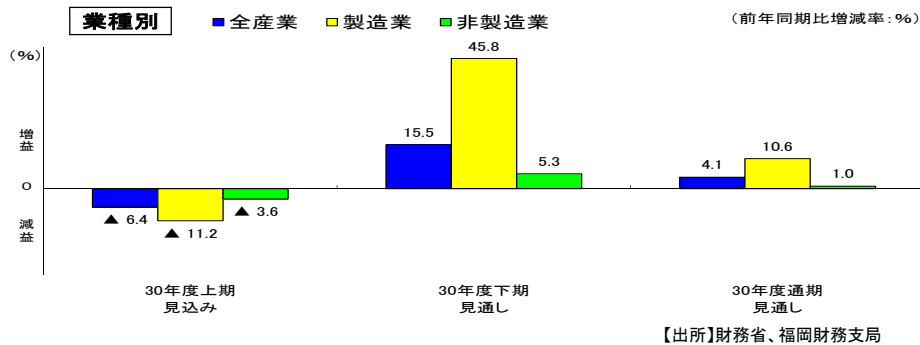
## 5. 企業収益 ～30年度は増益見通し～

○製造業では、情報通信機械器具等で減益見通しとなっているものの、自動車・同附属品等、その他の輸送機械器具等で増益見通しとなっていることから、全体では増益見通しとなっている。

○非製造業では、情報通信等で減益見通しとなっているものの、小売、建設等で増益見通しとなっていることから、全体では増益見通しとなっている。

### 法人企業景気予測調査 30年4-6月期

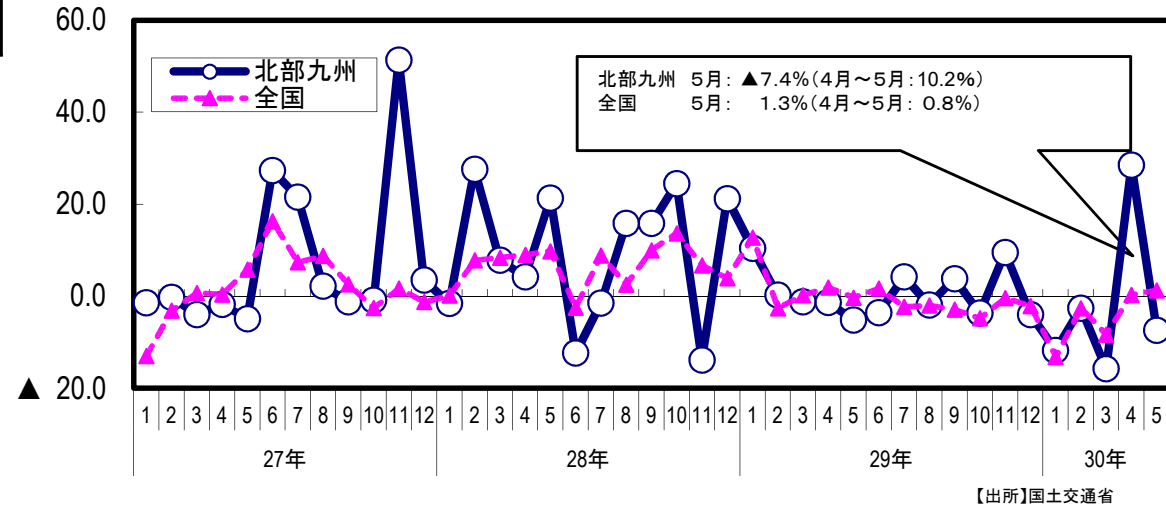
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業除く)の推移



## 6. 住宅建設 ～前年を上回っている～

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅の増加などから前年を上回っている。

(%) 【新設住宅着工戸数(前年比)】



## 7. 輸出 ～前年を上回っている～

輸出(円ベース)は、一般機械、電気機器を中心に増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(%) 【輸出金額(円ベース)(前年比)】

